

■ コミュニティバス利用者アンケート調査結果概要

1 調査の目的

コミュニティバス利用者の動向の変化を捉えるとともに、コミュニティバスの利用促進に向けた取り組みを実施するための基礎資料とする。

2 実施手法

	内 容
① 調査対象	月曜日から日曜日まで1週間のコミュニティバス利用者
② 対象者数	コミュニティバス利用者
③ 実施手法	個別面接聴取法（調査員が乗車し、アンケート用紙を配布した上での聞き取り調査）
④ 調査期間	平成26年3月10日（月）～3月16日（日） 7日間
⑤ 前回実施年月	平成25年3月

3 主な調査結果（単純集計：上位のみ掲載）

【利用者アンケート 回答総数：283（前回調査297）】

※回答には、未回答があるため、合計が100%にならない設問がある。

(1) 利用者の属性、利用目的

前回調査と比較して、大きな変化は見られず、高齢者や主婦層による買物利用が多い。これは、日中の移動制約者の交通手段の確保というコミュニティバスの運行目的と合致している。

①地区	今回調査	前回調査
西枇杷島地区	11.7%	9.1%
清洲地区	36.0%	27.6%
新川地区	20.5%	40.1%
春日地区	7.4%	8.8%
市外	5.7%	5.4%

②性別	今回調査	前回調査
男性	20.5%	19.9%
女性	76.3%	77.1%

③年代	今回調査	前回調査
80歳以上	11.7%	24.1%
70歳代	36.0%	24.1%
60歳代	20.5%	15.6%
50歳代	7.4%	7.8%
40歳代	7.1%	4.9%
30歳代	5.7%	6.2%

④職業	今回調査	前回調査
無職	50.2%	45.1%
家事従事者	16.3%	23.2%
サラリーマン	7.1%	3.4%
パート等	2.5%	3.0%
小・中学生	1.1%	4.7%

⑤利用目的	今回調査	前回調査
買物	35.3%	39.4%
公共施設利用	20.8%	19.9%
その他	19.1%	26.3%
通院	9.5%	5.4%

⑥利用頻度	今回調査	前回調査
初めて	4.9%	7.4%
ときどき	52.3%	40.4%
頻繁	26.5%	32.7%

(2) 利用経験について

平成24年7月7日（ルート・ダイヤ改正）以後からの利用者が約4割であった。

	今回調査	前回調査
平成21年9月（旧春日町との合併）以前から	13.8%	42.1%
平成21年10月（旧春日町との合併）以後から	5.7%	20.9%
平成24年7月7日（ルート・ダイヤ改正）以後から	41.3%	18.9%

(3) 乗り継ぎについて

乗り継ぎができることについては、ある程度の認知がされているが、「利用したことがない」という回答が約6割であった。

	今回調査	前回調査
利用したことがある	7.8%	13.5%
利用したことがない	62.5%	59.6%
乗り継ぎができることを知らなかった	3.5%	5.7%

(4) 自動車の利用頻度

「自動車を保有していない」という回答が約3割であった。

	今回調査	前回調査
自家用車があり、日常的に運転している	8.8%	4.0%
自家用車はあるが、たまにしか運転しない	3.9%	3.7%
自家用車はあるが、日常的に家族の運転に同乗する	15.5%	10.4%
自家用車はあるが、たまに家族の運転に同乗する	9.9%	8.4%
自家用車はあるが、ほとんど利用しない	7.4%	12.1%
自家用車を保有していない	30.4%	30.6%

(5) 自転車の利用頻度

「ほとんど利用しない」及び「乗れない」という回答が約3割であった。

	今回調査	前回調査
よく利用する	23.3%	21.9%
ときどき利用する	22.6%	15.2%
ほとんど利用しない	16.3%	11.4%
乗れない	15.2%	20.9%

(6) 自由意見（主な意見を抜粋）

良い点	悪い点	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・料金が100円で安い。 ・自動車に乗れないので助かっている。 ・土日祝日も運行しているので便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地まで時間がかかる。 ・便数が少ない。1時間に1本は運行してほしい。 ・ステップが高くて乗り降りしづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝便があるとよい。 ・高齢者は安くしてほしい。